

(別紙報告様式)

鳥獣被害防止総合対策事業の評価報告(令和8年度報告)

市町名: 福山市

1 事業評価報告

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始 時期	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績														事業実施主体の評価
										獣種	被害金額				被害面積				処理頭数					
											現状値	目標値	実績値	達成率	現状値	目標値	実績値	達成率	現状値	目標値	実績値	達成率		
福山市鳥獣被害 対策協議会	福山市	2023年度	イノシシ	捕獲監視センサーカメラ	10台	福山市鳥 獣被害対 策協議会	2023.9	100	イノシシによる農作物被害 及び市街地への出没が多 発するため、地域住民から の依頼等に基づき設置す る箱わなを整備し、監視セ ンサーカメラや獣サイズ判 別センサーを導入すること で捕獲活動の効率化及び 省力化を図った。 ニホンザルによる農作物被 害軽減に向けて、地域住民 への研修会を実施し、生息 状況調査により加害レベル の高い群れを特定し捕獲 に向けて取り組んだ。 ドライアイスを活用したカワ ウ繁殖抑制対策として、現 地確認等を行い、捕獲に向 けて取り組んだ。	イノシシ	7,258千円	5,291千円	4,378千円	146%	589a	429a	409.5a	112%		イノシシ捕獲活動に係る省力化及 び効率的な成獣捕獲に向けた ハード面の体制が整ってきてお り、継続的な取組が期待できる。 ニホンザル対策として、市北部に おける生息状況を把握し、計画的 な対策につながっている。				
				上記通信費・ダッシュボード利用料	10台分		2023.9	100		シカ	0千円	0千円	0千円	100%	0a	0a	0a	100%						
				大型獣用箱わな	7基		2024.3	100		サル	107千円	78千円	386千円	~960%	4a	3a	2.5a	150%						
			サル	ニホンザル対策研修会	1回					ヌートリア	122千円	89千円	268千円	~442%	11a	8a	26.3a	~510%						
				生息状況調査委託事業	1式					アライグマ	346千円	252千円	256千円	96%	4a	3a	2.5a	150%						
			2024年度	カワウ	カワウ繁殖抑制のための用船料		2回	2025.1 2025.3	100		カラス	1千円	0千円	0千円	100%	0a	0a	0a			100%			
		イノシシ			大型獣用箱わな	5基	2024.8	100		カワウ	—	—	—	—	—	—	—							
				獣サイズ判別センサー	4台	2025.8	100																	
				獣サイズ判別センサー	18台	2025.9	100																	
		2023年度	イノシシ シカ サル	(緊急捕獲)		720頭	福山市鳥 獣被害対 策協議会			農作物に危害を加える有 害鳥獣を駆除することを目 的として、イノシシ・シカ・サ ルの捕獲を実施したこと により、野生動物の個体数調 整が図られ、農作物被害の 防止に一定の効果を得るこ とができた。											2025年度は豚熱の影響等によ り、イノシシの捕獲数は減少した が、イノシシによる被害金額及び 被害面積は目標値を達成し、有 害鳥獣捕獲班を主とした捕獲活 動により農作物被害抑制に繋 がっている。今後も継続して、「環 境整備」「侵入防止」の対策推進と 掛け合わせながら、効果的な捕獲 活動を促進する。			
						2頭																		
						2頭																		
		2024年度	イノシシ シカ サル		有害捕獲(対象鳥獣の個体 数を低減するため、緊急的 な捕獲活動を実施)	758頭																		
						3頭																		
			2頭																					
		2025年度	イノシシ シカ サル	565頭																				
				13頭																				
				0頭																				

注1)被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載してください。
注2)達成率の算出方法については「実績値(＝基準年値－実績値)／目標値(＝基準年値－目標値)」であるとして算出してください。
注3)被害防止計画の目標と実績の処理頭数の欄については、「ジビエ等の利用拡大に向けた地域の取組(販売拡大支援)」のメニューを活用した場合に記載してください。

2 第三者の意見

コメント: 一般社団法人広島県鳥獣対策等地域支援機構 本部マネージャー 檀上 理沙
イノシシではICTシステムを用いた捕獲体制を構築しており、サルに関しては環境省のガイドライン(特定鳥獣保護・管理計画作成のためのガイドライン)に基づき、群れ管理における優先順位をつけ、効果的な捕獲活動の推進が図れている。また、捕獲の強化活動のみに留まらず、単市の地域活動支援事業(誘引果樹の伐採、放棄耕作地の草刈り、サルの追い払い)や緩衝地帯整備事業を複数個所で実施するなどの総合的な被害防止対策を講じていることから、鳥獣被害を抑制する一定の効果を発揮していると評価できる。
一方で、侵入防止柵の設置が進んでいない地域が存在するため、今後も継続して獣種や地形等に応じた適切な侵入防止対策の普及を行うとともに、環境整備および加害個体の捕獲活動を推進し、野生鳥獣による被害が軽減していくことを期待する。

注) 第三者の名前・所属・役職等を記載のこと。